

様式第4号（第5条関係）

政務活動費収支報告書

令和 ⁶~~5~~ 年 3 月 26 日

島田市議会議長 藤本 善男 様

議員氏名 井上 篤

令和5年度の政務活動費について、次のとおり報告します。

単位：円

収入の部

項 目	決 算 額	摘 要
政務活動費交付金	200,000	
計	200,000	

単位：円

支出の部

項 目	決 算 額	摘 要
調査研究費	55,628	視察調査
研修費	75,785	地方財政の基礎講座
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
その他の経費		
計	131,413	

政務活動費残額

68,587 円

政務活動費支出決算額明細書

項 目	支 出 明 細	領収書貼付 用紙の番号
調査研究費		55,628円
	宗像終末処理場における消化ガス発電 導入プロジェクト視察	
	福岡県宗像市 (R5. 10. 26)	55,628円
	セーフコミュニティ推進事業視察	
	福岡県久留米市 (R5. 10. 27)	
	・ 旅費	42,220円
	・ 宿泊代	12,000円
	・ タクシー代金 (1,020円×2台÷5人)	408円
	・ 手土産代 (5,000円÷5人)	1,000円
研修費		75,785円
	地方財政の基礎「歳入」	
	地方財政の基礎「歳出」	
	教育予算の基礎	75,785円
	(R5. 7. 24-25)	
	・ 旅費	21,500円
	・ 宿泊代	8,900円
	・ 受講料	45,000円
	・ 振込手数料	385円
計		131,413円

	議 長	副議長	事務局長	次 長	係 長	担 当
決 裁 済						

領収書貼付 用紙の番号	/
----------------	---

政務活動出張申請書

令和5年10月5日

島田市議会議長 藤本 善男 様

島田市議会議員

井上 篤

市政調査研究（調査研究・研修）のため、下記に出張をしたく届け出ます。

出張年月日	令和 5年10月26日 から 令和 5年10月27日まで
出張先	宗像市役所下水道課 福岡県宗像市田熊1373（宗像終末処理場） 久留米市役所 福岡県久留米市城南町15番地3
出張の目的	宗像終末処理場における消化ガス発電導入プロジェクト 視察 セーフコミュニティ推進事業 視察
行程・利用交通 (交通手段の理由)	別紙の行程表（交通費計算書）による。
旅費	別紙 政務活動出張旅費支出伝票による



島田市議会会派（清流の風等）視察行程表

1 視察日時及び視察先

(1) 令和5年10月26日（木）午後1時30分～午後3時30分

ア 視 察 先：福岡県宗像市 TEL. 0940-36-1119（担当：宗像市議会 福島 様）

イ 視察項目：宗像終末処理場における消化ガス発電導入プロジェクトについて

(2) 令和5年10月27日（金）午後1時30分～午後3時

ア 視 察 先：福岡県久留米市 TEL. 094-230-9305（担当：久留米市議会 平井 様）

イ 視察項目：セーフコミュニティ推進事業について

2 行程表

【第1日目】令和5年10月26日（木）

JR 東海道本線	こだま 763 号	さくら 547 号	鹿児島本線	
島田駅	掛川駅	新大阪駅	博多駅	東郷駅
5:56	6:14 6:21	8:09 8:53	11:26 11:42	12:23

(昼食)

—— 宗像市役所下水道課

○ 宗像市役所下水道課 視察 13:30～15:30

—— 東郷駅	—— 久留米駅	—— 宿泊先
16:30	17:38	

【第2日目】令和5年10月27日（金）

宿泊先 —— (昼食) —— 久留米市役所
13:30

○ 久留米市視察 13:30～15:00

	JR 鹿児島本線	さくら 566 号	こだま 762 号	
—— (市内見学)	—— 久留米駅	—— 博多駅	—— 新大阪駅	—— 掛川駅
	16:22	17:11 17:23	19:59 20:42	22:42 22:56

—— 島田駅
23:15

	議長	副議長	事務局長	次長	係長	担当
決裁						

領収書添付 用紙の番号	
----------------	--

政 務 活 動 出 張 旅 費 支 出 伝 票

出張日	令和 5 年 10 月 26 日 ~ 令和 5 年 10 月 27 日				
出張先	福岡県宗像市(宗像市役所都市建設部下水道課)、福岡県久留米市(久留米市役所)				
旅費	交通費	宿泊費	日当	参加者負担金等	
下記計算の 基礎参照	42,220円				
計					42,220円

計算の基礎

計算の基礎

旅 程	合計				2066.4 km	
六合 / ~ 掛川 / ~ 博多 / ~ 東郷 / ~ 久留米 / ~						
博多 / ~ 掛川 / ~ 六合 / ~						
鉄道運賃 ※601キロ以上は往復割引適用(同一経路のみ)、地下鉄等は2キロ以上から						
↓片道キロ数						
六合 / ~ 東郷 / (997.5 km)	片道 /			12,820 円		
東郷 / ~ 久留米 / (63.2 km)	片道 /			1,310 円		
久留米 / ~ 六合 / (1005.7 km)	片道 /			12,950 円		
~ (km)	往復 /			円		
	計			27,080 円		
加算運賃 (J R 北海道、四国、九州)		km				円
()						
鉄 道 運 賃 計				27,080 円		
特急料金等 ※乗継割引利用な場合は利用、座席指定の可否確認、片道キロ数確認						
新幹線	掛川 / ~ 博多 / (945.6 km)	往復 /		15,140 円		
在来線特急	~ (km)	往復 /		円		
在来線急行	~ (km)	往復 /		円		
座席指定料金	~ (km)	往復 /		円		
↓片道キロ数						
車賃 (バス・タクシー)	~ (km)	往復 /		円		
航空賃、船賃	~	往復 /		円		
交 通 費 合 計				42,220 円		
宿泊料	@13,100 × 泊			円		
日当	@2,600 × 日 + @1,300 × 日			円		
↓日当の調整がある場合は、理由を記載すること						
()						
その他				円		
旅 費 合 計				42,220 円		

領 収 書

No. 8232

日付 2023年 10月 26日

車番 000106 000

基本運賃 ¥1020円

合計 ¥1020円

上記の通り領収致しました

消費税率 10%

課税事業者登録番号

T5-2900-0103-7099

ご乗車ありがとうございます。

まごころこめて24時間配車

みなとタクシー

宗像市赤間駅前2丁目3-8

お客様専用(0940)33-1331

領 収 書

No. 8099

日付 2023年 10月 26日

車番 000107 0000

基本運賃 ¥1,020円

合計 ¥1,020円

上記の様に領収致しました

消費税率 10%

毎度ご乗車ありがとうございます。

新星交通有限公司

登録番号:T2-2900-0203-5187

宗像市東郷1丁目5-2

配車センター

☎ 0940-36-2138

小型タクシー・グランドタクシー

別紙3

計 ¥2,040円

5人で除する。

領収書

令和5年 10月 28日

井上 篤 様

金額 ¥408-

但し、東郷駅～宗像市下水道課までのタクシー代金として上記正に領収いたしました

島田市大草 622

曽根達裕

別紙4

0001-6633

2023年10月25日水曜日

領 収 証

曾根達裕様

¥5,000-

(消費税8%¥370)

但し、
東海道 島田宿 清水屋 本店
島田市本通り2丁目5-5
*保管上のお願い

電話 0547(37)2542

担当者

領収証No 9525

財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。登録番号: T4080001013089

5人で除する。

領収書

令和5年10月26日

井上 篤 様

金額 ¥1.000-

但し、手土産(菓子)代金として上記正に領収いたしました

島田市大草 622

曾根達裕

決 裁	議 長	副議長	事務局長	次 長	主幹 係 長	担 当
						

領収書貼付 用紙の番号	5
----------------	---

政務活動出張申請書

令和5年7月11日

島田市議会議長 藤本 善男 様

島田市議会議員 井上 篤

市政調査研究（調査研究・研修）のため、下記に出張をいたく届け出ます。

出張年月日	令和5年7月24日 から 令和7年7月25日まで
出 張 先	大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-22 丸ビル別館
出張の目的	地方財政に関する研修会を受講するため
行程・利用交通 (交通手段の理由)	別紙の行程表（交通費計算書）による。
旅費	別紙 政務活動出張旅費支出伝票による



国の動きと制度の

基礎的 解説 講座

in大阪

in東京

7月24日(月)

8月3日(木)

10:00~12:30 地方財政の基礎「歳入」

- ・自治体財政と国の財政
- ・地方交付税のしくみ。基礎編
- ・臨時財政対策債と普通の借金の違い
- ・貴方の街の決算カードの見方

14:00~16:30 地方財政の基礎「歳出」

- ・国の予算を見て3月議会に使う
- ・まちひとしごと創生事業
- ・歳出と社会保障費の考え方
- ・公共施設の更新費用と老朽化対策

in大阪

in東京

7月25日(火)

8月4日(金)

10:00~12:30 教育予算の基礎

- ・教育投資と教育収益
- ・財政措置と負担軽減策
- ・GIGAスクールとICT教育
- ・コロナ対応と教育予算
- ・ICT教育各地の事例から

14:00~16:30 子どもの貧困問題の基礎

- ・子どもの貧困対策に関する大綱の解説
- ・絶対的貧困と相対的貧困
- ・貧困指標を見て現状把握
- ・ひとり親家庭に対する取り組み
- ・就学支援とマザーハローワーク

講師

あだち

よしみ

足立 泰美

甲南大学経済学部 教授
博士(医学)
博士(国際公共政策)



2010年大阪大学大学院国際公共政策研究科修士課程修了、2014年大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学博士課程修了。「今後の神戸市の人口動態に関する有識者会議」委員、「今後神戸市の子育て施策に関する有識者会議」委員、「神戸市国民健康保険運営協議会専門部会」委員、「大津市行政改革推進」委員、「吹田市総合計画審議会」委員、「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」副会長、「地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会」副委員長、「吹田市国民健康保険運営協議会」公益代表委員、「全国保険協会兵庫支部健康づくり推進協議会」委員など

著書

「保健・医療・介護における財源と給付の経済学」
(大阪大学出版社 2015)

「税と社会保障負担の経済分析」
(日本経済評論社 2015)

	議長	副議長	事務局長	次長	主幹 係長	担当
決裁						

領収書添付
用紙の番号

政 務 活 動 出 張 旅 費 支 出 伝 票

出張日	令和 5 年 7 月 24 日	～	令和 5 年 7 月 25 日
出張先	新大阪丸ビル別館(大阪府大阪市東淀川区)		
旅費	交通費	宿泊費	日当
下記計算の 基礎参照	21,500円		
計			21,500円

計算の基礎

旅 程	島田	～	掛川	～	新大阪	～	掛川	～	島田	～	合計	689.6 km
鉄道運賃	※601キロ以上は往復割引適用(同一経路のみ)、地下鉄等は2キロ以上から ↓片道キロ数											
	島田	～	新大阪	(	344.8 km	)	往復		12,100	円		
				(		)	往復			円		
				(		)	往復			円		
				(		)	往復			円		
							計		12,100	円		
加算運賃 (JR北海道、四国、九州)						km				円		
							鉄 道 運 賃 計		12,100	円		
特急料金等	※乗継割引利用な場合は利用、座席指定の可否確認、片道キロ数確認											
新幹線	掛川	～	新大阪	(	323.3 km	)	往復		9,400	円		
在来線特急		～		(	km	)	往復			円		
在来線急行		～		(	km	)	往復			円		
座席指定料金		～		(	km	)	往復			円		
車賃(バス・タクシー)		～		(	km	)	往復			円		
航空賃、船賃		～					往復			円		
交 通 費 合 計									21,500	円		
宿泊料	@13,100×	泊								円		
日当	@2,600×	日	+	@1,300×	日					円		
	↓日当の調整がある場合は、理由を記載すること ()											
その他										円		
旅 費 合 計									21,500	円		

領 収 書 等

項 目	研修費		
支出明細	宿泊代	領収書貼付 用紙の番号	6

領 収 証

井上 篤

¥ 8,900.-

但 ち宿泊代として

入金日 2023 年 7 月 24 日 上記正に領収いたしました

内訳 PayPay

税抜金額

消費税額等 (%)

収入 印 紙

大阪市東淀川区西淀路1丁目 1-1-1

株式会社 大阪コロナ

TEL(06) 6323-3151 (代表)

様 No. 512723

領 収 書 等

項 目	研修費		
支出明細	受講料	領収書貼付 用紙の番号	7

領 収 証

2023 年 7 月 24 日

井上篤

様

★

¥45,000

但 7/24.25 国の動きと制度の基礎的解説講座

研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区

大阪駅前第2ビル

TEL 050-686

領 収 書 等

項 目	研修費		
支出明細	振込手数料	領収書貼付 用紙の番号	8

島田掛川信金全国しんきんネット

ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。

ご利用年月日	取扱店番・受付番号
05 07 10	15131407-0136
お取引店	口座番号
	1513-1170-210371*****

お取引金額

お取引	お引出
手数料 ¥385 通帳員	お取引金額
時刻 13:40	¥45,000*
説明コード	お取引後残高
	¥44,615

楽天銀行
第四営業支店
普通 0007128969
シャシーケーセミナー様

案 イノウエ アツシ様
ご依頼人

島田掛川信用金庫

調査研究報告書

令和 6年 3月 26日

島田市議会議長 藤本 善男 様

島田市議会議員 井上 篤

令和 5年度の調査研究テーマに基づく活動等について、次のとおり報告します

1. 再生可能エネルギーやカーボンニュートラル等の環境問題について。
福岡県宗像市の宗像終末処理場での消化ガスによるバイオガス発電事業を視察。
当市の下水処理場での可能性の調査を行った。下水処理場の設備更新に生かして行く。
2. 農林業や茶業の振興と森林整備に関する課題について
農業委員から、現状の聞き取りを行った。また、茶商からも現状や課題を伺い調査を行った。次年度以降に繋げていきたい。
3. 自治組織やコミュニティ活動の活性化について
毎月東町自治会組長会に参加し地域の課題について話を伺っている。コミュニティ委員会の教育部会にも出席しその課題について厚生教育委員会での提言に繋げた。
福岡県久留米市のセーフコミュニティ事業を視察を行った。
4. 中山間地域に関する課題について
11月定例会の一般質問で、移住・定住について質問を行った。その中で川根地域の子育て世帯型住宅「ちゃいんど」についてと川根地区の空き家バンク事業に関しての質問を行った。
5. 子育て支援対策や高齢者・障害者福祉対策について
介護保険の要介護認定について相談を受け他市の事例などの調査を行っている次の一般質問に向け引き続き調査をしていく。
6. 地域産業や観光の振興について
同僚議員と諏訪原城のビジターセンターに行き、調査をした。川越街道の川会所について意見交換を行い。今後の観光について調査を行っている。
7. 自主防災等の防災対策について
当市において、6月に台風2号による災害が発生した。災害現場を視察調査を行うとともに、浜岡原発の津波対策の現状とオフサイトセンターの視察を行った。
8. コミュニティバス等の公共交通機関対策について
タクシー事業者と現況について意見交換を行った。金谷地区からガス充填ステーション

ンが無くなる問題があり、当該部局に情報を伝えた。

9. 財政問題と新しい行政システムについて

一般会計の歳入・歳出。教育関係予算についてのセミナーを受講し、研究を行った。
予算・決算の審議に生かしている。

10. スポーツ振興について

中学校の部活動の地域クラブへの移行について担当課から意見聴取を行い調査研究をおこなった。

行った。

報 告 書

令和 6年1月14日

島田市議会議長 藤本 善男 様

島田市議会議員 井上 篤

市政調査研究（調査研究・研修）のため、出張したので報告します。

出張年月日	令和 5年7月24日 から 令和 5年7月25日まで
1 調査研究 出張先及び 調査項目 2 研修 研修名、出張先及 び主催者	2. 地方議会研究会セミナー 「地方財政の予算編成（歳入）」 「地方財政の予算編成（歳出）」 「教育予算の基礎」 新大阪丸ビル別館（大阪市東淀川区東中島1丁目18-22） 地方議員研究会
報告事項	別紙のとおり

1/25 受付

地方議会研究会セミナー

1. 日時 令和5年7月24日10:00～令和5年7月25日12:30

2. 会場 新大阪丸ビル別館（大阪市東淀川区中島1丁目18-22）

3. テーマ 「地方財政の予算編成(歳入)」、「地方財政の予算編成(歳出)」、
「教育予算の基礎」

4. 講師 足立 泰美

〔略歴〕2010年大阪大学大学院国際公共政策研究科修士課程修了, 2014年大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学博士課程修了。

「今後の神戸市の人口動態に関する有識者会議」委員, 「今後神戸市の子育て施策に関する有識者会議」委員, 「神戸市国民健康保険運営協議会専門部会」委員, 「大津市行政改革推進」委員, 「吹田市総合計画審議会」委員, 「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」副会長, 「地方独立行政法人市立吹田市民病院評価委員会」副委員長, 「吹田市国民健康保険運営協議会」公益代表委員, 「全国保険協会兵庫支部健康づくり推進協議会」委員など。

〔著書〕「保健・医療・介護における財源と給付の経済学」(大阪大学出版社, 2015)

「税と社会保障負担の経済分析」(日本経済評論社, 2015)

5. 内容

1) 地方財政の予算編成(歳入) 7月24日10:00～12:30

2019年にはコロナ禍による109兆円だった歳出が185兆円に膨れ上がった。その財源は借金で調達が行われたその額は109兆円で、前年の3倍に膨れ上がっている。そういった状況で今後の地方財政どう確保していくのか。地方財政計画を公の資料に基づき説明がされた。保育園や図書館など全国一律サービスが受けられるように地方税と地方交付税があり、地方税は自治体により税収に差があるため、地方交付税により補填されている。地方交付税の算定の基礎や歳入決算額の表の見方などを学んだ。また、経営健全化計画の概要について京都市を例に学んだ。

2) 地方財政の予算編成(歳出) 7月24日14:00～16:30

地方財政計画を基に支出の傾向として、給与関係経費は削減、一般行政経費は増加、公債は削減、投資的経費は削減、公営企業繰出金は削減の傾向にあることを学ん

だ。国としては、マイナンバーに500億、デジタル田園都市国家構想事業費に1兆2500億、ローカル鉄道の再構築を図るための経費について地方財政措置を図るなど当市にも関係ありそうな分野について学んだ。当市の令和3年度の決算状況を決算カードの見方を参加している他市と比較を行いながら、カードの見方を学んだ。

3) 教育予算の基礎 7月25日10:00~12:30

国の教育予算について、公財政教育補助の対GDP比はOECD諸国と比較で、就学前、初等中等教育、高等教育それぞれの分野で最下位付近だということを学んだ。公財政と私費の割合は、初等中等教育は平均だが、就学前と高等教育において、諸外国より私費の割合が高い。今後就学前と高等教育において、負担軽減の方向に向かうと思われる。GIGAスクール構想において、教育のICT化が今後の方向性である。

6. 講演を聞いて

地方財政の歳入、歳出について、様々な表の見方を学んだ。また、財政カードの見方と他市との比較により当市の全国的な状況を学べた。当市は静岡県の中では財政的に指標として、低い位置にあるが、全国的にみると財政は非常に健全な位置にあることを学んだ。講師の方から、当市はお金を貯めすぎではないかとの指摘も受けた。財政は健全に越したことは無いと考えるが、投資をしないと市は良くはない。当市の財政について、判断材料の一つとして役立てて行きたいと考える。

報 告 書

令和5年11月2日

島田市議会議長

藤本 善男 様

島田市議会議員

井上 篤

市政調査研究（調査研究・研修）のため、出張したので報告します。

出張年月日	令和 5年10月26日 から 令和 5年10月27日まで
1 調査研究 出張先及び 調査項目 2 研修 研修名、出張先及 び主催者	1. 宗像終末処理場における消化ガス発電導入プロジェクトについて 10月26日 2. セーフコミュニティ推進事業について 10月27日
報告事項	別紙のとおり



① 宗像終末処理場における発電導入プロジェクトについて

1. 日時 令和5年10月26日13:30～15:30

2. 場所 宗像終末処理場（福岡県宗像市田熊1373）

3. 内容

宗像市環境部下水道課より、宗像市の概要と現水道事業の概要の説明があり、

宗像市は、人口約97000人、面積約12000ha

下水道普及率は97.2%であり、

水処理方式は

第1系統	硝化促進型凝集剤添加循環法	高度処理（ペガサス）
第2系統（1系列）	硝化促進型凝集剤添加循環法	高度処理（ペガサス）
第2系統（2系列）	硝化促進型凝集剤添加循環法	高度処理（ペガサス）
第2系統（3，4系列）	凝集剤添加循環法	高度処理（循環法）

で平成6年から高度処理に取り組んでいる。それは宗像市の上水の水源が終末処理場の下流部で汲み上げており、水量が豊富ではない釣川のリンによる富栄養化などをさけるために高度処理で水質を改善している。

消化ガスについては、宗像終末処理場は2系統を建設時に消化ガスをためるための消化タンクを設置しており、消化ガス発電プロジェクト以前は、燃焼により処分を行っていた。焼却処分して、消化ガスを発電に利用するプロジェクトにあたって、宗像市が地球温暖化など環境問題に取り組んでいることをアピールするためにも、森林Jクレジット利用による排出権を登録している。当時導入時に補助事業があり、排出権を設定するための調査などは全額国庫負担で行った。発電機の導入の方は、社会資本整備総合交付金により、国の2分1補助により導入を行った。

導入にあたっての投資額は

区分	単位	設計費	工事費	計	年価（耐用年数15年）
国費	円	5,000,000	189,339,000	194,339,000	12,955,933
市費	円	6,020,000	157,035,000	163,055,000	10,870,333
計	円	11,020,000	346,374,000	357,394,000	23,826,267

発電された電気の利用に関しては、1 終末処理場の電気として利用 2 電力会社への売電 3 発電事業そのものを委託し、ガスの販売による収入の3つが検討され、収益性なら当時は2がもっとも高かったが、売電をしてはプロジェクトの目的である環境対策を考えると2 酸化炭素削減に市として取り組んでいるとは言い難いため、市の施設での利用することに決定された。

発電量は約1500～1600 千kwh/年

削減電力費は、年間約2500万円程度だが、燃料費が高騰しており、R4年度は約3400万円程の電気代の削減に繋がっている。

削減電力費から投資額と維持費を引いても、年400万～700万ほど収益が出ており、事業性が認められる。

森林Jクレジットに関しては、当初市内の環境イベントなどで排出される2 酸化炭素などを消化ガス発電で削減された2 酸化炭素で相殺してゼロカーボンのイベントにするなどの利用を考えていたが、イベントで排出される2 酸化炭素の量の測定など課題があり断念。また、排出権の売却もそれを行うと市として削減しているとは言えなくなるため、現状は考えてはいない。

4. まとめ

宗像終末処理場における消化ガス発電事業を、当市に導入するためには現状では、宗像市と当市は、共に人口97000人前後であるが、宗像市の下水道普及率が約97%あるのに対して、当市は9.6%ほどしか処理をしていない。消化ガスの発生量が現状では足りず事業化は困難と思われる。さらに、当市の下水処理施設は、消化ガスを貯めるタンクを設置していないため、発電事業を導入する為には、消化ガスタンクの建設が必要になりさらなる費用が発生する。

今後当市が導入するためには、将来、浄化槽汚泥を処理している金谷クリーンセンターを廃止し、下水処理場で処理できるMICS事業を導入し、処理量が増え消化ガスの発生量が高まった時に事業性が出てくると思われる。また、下水処理場も平成7年に完成しており、30年を経過している。設備の更新等を考える必要もあり消化ガスタンクやMISC事業など将来の汚泥処理の方向性について考える時期にきている。

MICS

② セーフコミュニティ推進事業について

1. 日時 令和5年10月27日13:30～15:00
2. 場所 久留米市役所（福岡県久留米市城南町15-3）
3. 内容

久留米市議会事務局より久留米市の概要説明があり、

人口 301,612 人
世帯数 140,549 世帯
面積 229.96 km²

市制施行 明治22年と歴史が長く、とんこつラーメン発祥の地であり、ブリヂストンの創業の地にもあたる。セーフコミュニティにいち早く取り組んだ理由には、指定暴力団の本部が久留米市にあり、市民の安心・安全のための取り組んできた歴史がある。

セーフコミュニティは、地域社会全体で安全・安心なまちづくりに取り組むコミュニティであり、ケガや事故は偶然の結果ではなく、予防できるという考えをもとに、様々なデータを分析して、地域、家庭、市役所、学校、医療機関、警察、消防など協働で予防策に取り組む活動である。

国際基準の認証制度になっており、5年間の認証期間になっており、久留米市では2018年に2度目の認証を取得している。

認証を得るには6つの指標があり

- ① ガバナンス（自治体の推進体制や仕組みで、分野横断的に長期的・継続な取り組みを進めている）
- ② サーベイランス（問題の把握、リスクの評価と予防対策の立案のため、生涯及びその原因に関するデータを収集し、安全診断等を実施している）
- ③ 包括性（あらゆる性別・年齢・環境・状況を対象に取り組みを進めている）けがやその原因となる事故などの頻度や原因を記録する仕組みがある。
- ④ 脆弱集団（弱者やハイリスクの集団、環境を対象とした取り組みがある）
- ⑤ 評価（取り組みの工程、成果の評価及び継続的なプログラム・プロジェクトの向上の

ための仕組みがある)

- ⑥ ネットワーク（国内外のＳＣネットワークへの継続的な参加がある）

また、久留米市がセーフコミュニティに取り組んだ背景として４点あり

- ① 当時暴力団の抗争事件が相次ぎ体感治安が悪化、事故や自殺数なども多く市民の不安感が高かったため。
- ② 地域コミュニティの推進が全国的な課題であり、久留米市も合併しており一体感の醸成が課題であり、協働のまちづくりを推進するため。
- ③ 協働は見えにくいものであり、セーフコミュニティを導入することで見える形にすることができる。
- ④ 客観的なデータに基づいた予防と成果分析ができるので、施策に展開しやすいため。

久留米市のセーフコミュニティの推進体制としてセーフコミュニティ推進協議会を置き、会長は市長、委員として５５団体５６名の委員で構成している。役割は、基本方針の協議、決定・全市的な連絡調整を担い、年一回程度の集まりである。

その下に重点取り組み分野の対策委員会あり、下記の８つの重点項目を掲げて対策委員会を作り、取り組みの検討・改善、新たな方策等の検討を行っている。

- ① 交通安全
- ② 児童虐待防止
- ③ 学校安全
- ④ 高齢者の安全
- ⑤ 防犯
- ⑥ ＤＶ防止
- ⑦ 自殺防止
- ⑧ 防災

それ以外に外傷等動向調査委員会で、データ収集・分析、効果測定・評価を行い。その活動に対して日本セーフコミュニティ推進機構が支援を行っている。

具体的な活動としては、交通安全や児童虐待防止などの分野ごとのキャンペーンや講習会、啓発活動、研修会などを行っている。

成果として、犯罪・暴力の予防が２０１１年４，５９０件から２０２２年１，４３５件へ自殺予防が２０１１年７７人、２０２１年５８人へ。校区防災士養成人数が２０１６年１５人、２０２２年１５７人と成果が出ている。

5. まとめ

当市は久留米市と比較して、犯罪や暴力、自殺が多い街ではないので、数値的な結果はでにくいかもしれないが、セーフコミュニティ導入による市役所内の各課を超えた連携や警察や保健所など県機関との連携など目的に対して横の連携をとってあたることができるメリットがあり、データに基づいて改善していくことで、施策に反映をできるのは大きなメリットである。また、各事業もセーフコミュニティとしてではなく、当市としてそれぞれ独立して行われているが、セーフコミュニティ認証制度をとって担当部署を作ることによって当局、市民一体となった、協働の街づくりが推進できると思われる。